

平成30年度 第1回 自治体等FM連絡会議 東京23区地域会 開催報告

東京23区地域会代表幹事 東京都中野区 政策室 企画分野
企画調整担当 網野 和弥

開催日 平成30年5月23日（水）午後2時から午後5時まで

開催場所 中野区産業振興センター3階 大会議室

参加者数 55名（17区49名、1市1名、その他3団体5名）

1 講演（14：00～15：30）

テーマ「公共施設マネジメントのススメ～“公共資産”整備の実現に向けた取り組み～」

講師 堤 洋樹 氏（前橋工科大学工学部建築学科 准教授）

講演の主なトピックは以下のとおりです。

- 公共施設マネジメントの必要性
- 施設整備・保全計画の必要性
- 情報の集約と管理の仕方
- BaSS プロジェクト事例
- 公共施設マネジメントの実例

※公共施設の整備にあたっての庁内連携、住民との検討の進め方など、具体的な他自治体の事例等を交えつつご講演をいただきました。



2 事例発表（15：40～16：10）

（1）北区

テーマ「学校施設跡地の利活用について」

⇒「北区学校施設跡地利活用指針」の概要や基本計画において定める公共施設の整備及び区立学校改築事業、また、学校跡地の利活用にあたっての検討委員会の概要など、具体的な事例・課題についてご報告をいただきました。



(2) 大田区

テーマ「大田区立入新井第一小学校改築工事 基本構想について」

⇒大田区において検討を進めている大田区立入新井第一小学校改築工事にかかる基本構想の策定にあたっての進捗状況等をご報告頂きました。

今後も各区からの事例発表を通じて、優良事例の共有や各区の課題の解決の一助としていきたいと思えます。



3 意見交換 (16:10~17:00)

テーマ「各区における学校跡地の活用等について」

学校跡地の活用について主に意見交換を行い、各区の取組状況や課題などについて率直な意見交換が行われ、時間いっぱいまで盛り上がりました。意見交換では、「学校については地域に根付いた施設のため跡地活用を検討するにあたっては地域の期待感を非常に感じ、地域との調整が極めて重要である」、「長年に渡り地元町会等に暫定利用を許可しているため廃止することが難しくなっている」といった声があった一



方、「人口減少に伴い学校の統廃合を進めてきたが、近年の人口増に伴い教室数の不足している学校も出てきている」といった課題も出てきました。

東京23区地域会も今回で通算5回目の開催となりましたが、23区以外にも都外からの参加や自治体以外の方の参加もみられ非常に有意義な会議体となっています。今後も、23区地域会を通じて、顔の見える学び合いの場として情報交換や交流により知識を深めていきたいと思えます。

【連絡担当者】

中野区政策室企画分野企画調整担当 網野・秋保

TEL : 03-3228-5485 FAX : 03-3228-5476

メール : sisetu-mgt@city.tokyo-nakano.lg.jp